

# 公益財団法人MSD生命科学財団

## 令和元年度事業報告

### I. 概況

当財団は、旧万有製薬株式会社（現MSD株式会社）のCSRとして始まった活動を、より継続的・発展的に運営するために平成14年に設立されました。生命科学の研究の推奨及び助成とともに、国際交流を担うべき人材の育成に関する事業として、研究者への研究/留学サポート、研究者育成に繋がるシンポジウムの開催等の活動を行っております。（平成23年4月に公益財団法人の認定取得、平成28年10月に財団名称を変更）

令和元年度は、医学領域では4領域の研究助成をメインとした活動、有機合成化学領域では前年度同様の助成活動を行ってまいりました。事業活動の詳細は、次のとおりです。

### II. 事業活動報告

#### 1. 医学領域：

**実績：19,541万円 / 予算：20,080万円**

##### 1-1. 研究助成

**実績：15,339万円 / 予算：15,879万円**

（当事業は、「助成（応募型）」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する）

日本国民の死因トップ3に着目し、がん、生活習慣病、感染症（女性研究者に対する支援プログラムを含む）、呼吸器・アレルギーの4領域に対する研究助成を行った。加えて、研究者のライフイベント（出産・育児・介護）を配慮し、研究の継続を支援した。

また、がん医療の社会的価値をテーマとした医療政策に関する研究助成を行った。

#### ➤ **がん領域** 【公募期間：4月1日～7月1日】 **実績：4,972万円 / 予算：5,076万円**

- 1) 目的： 国民の死因第一位である悪性新生物（がん）に対する治療の進展・発展に貢献できる研究への助成を通して次世代を担う研究者の育成を支援する。
- 2) 研究課題： 医学系におけるがんに関する独創的な基礎研究または臨床研究
- 3) 募集人数： 【若手研究者】 10名以内  
【スタートアップ】 1名
- 4) 研究助成： 【若手研究者】 1件あたり300万円（150万円×2年間）
  - ・平成30年度交付者10名に2年目助成金（各150万円）を交付
  - ・令和元年度交付者10名に1年目助成金（各150万円）を交付【スタートアップ】 1件あたり1,000万円（500万円×2年間）
  - ・平成30年度交付者1名に2年目助成金（500万円）を交付
  - ・令和元年度交付者1名に1年目助成金（500万円）を交付

5) 交付者決定/公開： 選考委員による書類審査を経て、11月に選考会（プレゼン審査）を開催し、令和元年度【若手研究者】交付者10名、【スタートアップ】交付者1名を決定。交付者は、財団ホームページに公開した。

6) 医学奨励賞： 平成29年度【若手研究者】交付者の2年間の研究成果報告について、選考委員による書類審査により医学奨励賞候補者を選出した。  
11月に選考会（プレゼン審査）を開催し、候補者より発表された研究成果について、選考委員による選考の結果、最優秀賞（追加助成300万円）北海道大学 園下将大先生 及び 優秀賞（追加助成各100万円）2名を決定。受賞者は財団ホームページに公開した。

➤ **生活習慣病領域** 【公募期間：4月1日～6月24日】

**実績：5,590万円／予算：5,890万円**

1) 目的： 生活習慣病領域の基礎・臨床研究分野における研究者の育成とその研究を奨励する。

2) 研究課題 生活習慣病領域の疾病の原因解明と新たな治療法の開発

3) 募集人数： 【若手研究者】 16名以内  
【スタートアップ】 1名

4) 研究助成： 【若手研究者】 1件あたり200万円（100万円×2年間）  
・平成30年度交付者21名に2年目助成金（各100万円）を交付  
・令和元年度交付者14名に1年目助成金（各100万円）を交付  
【スタートアップ】 1件あたり1,000万円（500万円×2年間）  
・令和元年度交付者1名に1年目助成金（500万円）を交付

5) 交付者決定/公開： 選考委員による書類審査を経て、8月に2分野（循環器、糖尿病/代謝）の選考委員長会議を開催し、交付者候補を検討した。  
11月に選考会（プレゼン審査）を開催し、令和元年度【若手研究者】交付者16名（決定後2名の辞退あり）、【スタートアップ】交付者1名を決定。交付者は財団ホームページにて公開した。

6) 万有医学奨励賞： 平成29年度交付者の2年間の研究成果報告について、選考委員による書類審査により、第8回万有医学奨励賞候補者6名を選出した。  
11月に開催された『第8回万有医学奨励賞「最優秀賞」選考会』において候補者により発表された研究成果について、選考委員による選考の結果、最優秀賞（追加助成300万円）東京都医学総合研究所 七田崇先生 及び 優秀賞（追加助成各100万円）5名を決定。  
受賞者は財団ホームページに公開した。

➤ **感染症領域** 【公募期間：4月1日～6月24日】

**実績：1,059万円／予算：1,160万円**

- 1) 目的： 感染症治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を支援する。
- 2) 研究課題： 医学系における感染症の独創的な基礎研究、臨床研究または疫学研究
- 3) 募集人数： 【若手研究者】 7名以内
- 4) 研究助成： 【若手研究者】 1件あたり200万円（100万円×2年間）  
・ 令和元年度交付者7名に1年目助成金（各100万円）を交付
- 5) 交付者決定/公開： 選考委員による書類審査を経て、11月に選考会（プレゼン審査）を開催し、令和元年度【若手研究者】交付者7名を決定。  
交付者は財団ホームページに公開した。

➤ **呼吸器・アレルギー領域** 【公募期間：4月1日～7月8日】

**実績：642万円／予算：792万円**

- 1) 目的： 呼吸器・アレルギー疾患の治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を支援する。
- 2) 研究課題： 医学系における呼吸器・アレルギー疾患に関する独創的な基礎研究または臨床研究
- 3) 募集人数： 【若手研究者】 4名以内
- 4) 研究助成： 【若手研究者】 1件あたり200万円（100万円×2年間）  
・ 令和元年度交付者4名に1年目助成金（各100万円）を交付
- 5) 交付者決定/公開： 選考委員による書類審査を経て、11月に選考会（プレゼン審査）を開催し、令和元年度【若手研究者】交付者4名を決定。  
交付者は財団ホームページに公開した。

➤ **女性研究者支援 -感染症領域-** 【令和元年度の公募なし】

**実績：607万円／予算：772万円**

- 1) 目的： 感染症・ワクチン領域におけるアンメット・メディカル・ニーズに取り組む女性研究者を支援する。
- 2) 研究課題： 感染症の原因解明と診断・治療法及びワクチン等による予防法の開発
- 3) 研究助成： 1件あたり200万円（100万円×2年間）  
・ 平成30年度交付者6名に2年目助成金（各100万円）を交付
- 4) 医学奨励賞： 11月に開催された「医学奨励賞選考会」において平成29年度交付者6名により口演発表された2年間の研究成果について、選考委員による選考を行った。（令和元年度は医学奨励賞の該当者なし）

#### ■ 4 領域合同研究発表会

**実績：1,229 万円／予算：808 万円**

- 1) 目的： 交付者に対して、専門領域でのより深い研鑽に加え、同世代あるいは異なる領域での研究者及び選考委員との交流による新しいネットワーク構築の機会を提供する。
- 2) 研究発表： 令和2年2月に、研究助成4領域（がん、生活習慣病、感染症、呼吸器・アレルギー）の選考委員及び交付者が参加した研究発表会を開催した。交付者による口演やポスター発表を実施し、選考委員も含め活発な意見交換・交流が行われた。
- 3) 参加者： 交付者41名、選考委員33名

#### ➤ **がん医療政策** 【公募期間：4月1日～5月31日、令和元年度特別助成プログラム】

**実績：1,237 万円／予算：1,378 万円**

- 1) 目的： 国民の死因第一位である悪性新生物（がん）に対する治療の進展・発展に貢献できる研究への助成を通して次世代を担う研究者の育成を支援する。
- 2) 研究課題： 日本国内の、または国内外の比較において、がん医療（医療倫理、診断、治療を含む）の社会経済的な価値に着目し、がん患者の健康アウトカムの向上を目的とした政策提言に資する研究
- 3) 募集人数： 2件以内
- 4) 研究助成： 1件あたり500万円（×2年間）  
・ 令和元年度交付者2名（各500万円）を交付
- 5) 交付者決定/公開： 7月の選考委員による書類審査を経て、8月に選考委員会、9月に選考会（プレゼン審査）を開催し、令和元年度交付者2名を決定。  
交付者は財団ホームページに公開した。

#### 1-2. **海外留学助成** 【令和元年度の公募なし】

**実績：4,201 万円／予算：4,200 万円**

（当事業は、「助成（応募型）」の事業区分に該当する）

我が国の学術研究の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を育成・確保するため、優れた若手研究者が海外へ留学し、大学等研究機関において研究に専念できるよう支援した。

なお、海外留学助成の募集は、平成30年度をもって終了した。

#### ➤ **生活習慣病領域**

**実績：2,401 万円／予算：2,400 万円**

#### ➤ **呼吸器・アレルギー領域**

**実績：1,800 万円／予算：1,800 万円**

- 1) 目的： 若手研究者の海外留学を助成し、優秀な研究者の育成を図る。
- 2) 対象： 【生活習慣病領域】 満 40 歳以下の医師  
【呼吸器・アレルギー領域】 満 40 歳未満の研究者
- 3) 留学助成： 【生活習慣病領域】 1 件あたり 400 万円（400 万円×1 年間）  
・平成 30 年度年度交付者 6 名に、助成金（各 400 万円）を交付  
【呼吸器・アレルギー領域】 1 件あたり 600 万円（300 万円×2 年間）  
・平成 29 年度交付者 3 名に 2 年目助成金（各 300 万円）を交付  
・平成 30 年度交付者 3 名に 1 年目助成金（各 300 万円）を交付

**2. 有機合成化学領域：** **実績：2,338 万円／予算：2,459 万円**

**2-1 学術講演会の開催並びに助成** **実績：2,071 万円／予算：2,067 万円**

（当事業は、「講座、セミナー、育成」の事業区分に該当する）

- 1) 目的： 講演会の開催並びに助成により、薬学、農学、工学、理学など関連学部  
の学生並びに若手研究者の育成と学術知識の普及を図る。
- 2) 対象： 大学及び大学院の学生他
- 3) 活動内容：

**① 各地区（福岡、仙台、札幌、名古屋、大津）シンポジウム**

- 令和元年度に計画した 3 地区（福岡、仙台、札幌）の学術講演会は、全て盛況に開催された。参加者の合計は、約 1,200 名であった。
- 第 25 回名古屋メダルの選考では、以下の先生が選出された。  
【ゴールドメダル】 スタンフォード大学 教授 Carolyn R. Bertozzi 先生  
【シルバーメダル】 東京大学大学院 教授 金井求 先生  
なお、メダリストによる受賞講演セミナー・授賞式については、都合により令和 2 年度に開催することとなった。
- 10 月に開催した第 10 回大津会議では、全国から選抜した 15 名の若手研究者との討論・交流が行われた。

**② 万有シンポジウム連絡協議会**

- 令和 2 年度に実施予定の「第 30 回記念万有福岡シンポジウム」、「第 31 回万有仙台シンポジウム」、「第 32 回万有札幌シンポジウム」について、各地区の組織委員会で内容が決定され、それをうけて各地区シンポジウムの連携と更なる充実を目的とした「万有シンポジウム連絡協議会」（野依良治先生他 計 10 名の有機合成化学研究の第一人者で構成）の第 14 回会合を令和 2 年 2 月に開催した。

## 2-2 Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA

**実績：266万円／予算：392万円**

(当事業は、「助成（応募型）」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する)

- 1) 目的： 優秀な研究者を選抜し研究交流の機会を与えることにより、有機合成化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 対象： 有機合成化学分野 満40歳未満の研究者
- 3) 活動内容： 【公募期間：6月1日～8月15日】
  - 9月に行われた書類選考により「Chemist Award BCA 2019」5名が選出された。
  - MBLA選考会（英語によるプレゼン審査）を12月に開催し、大阪大学大学院工学研究科准教授 平野康次 先生が「Lectureship Award MBLA 2019」に決定した。
  - 平成30年度に「Lectureship Award MBLA 2018」を受賞した 京都大学高等研究院教授 深澤愛子 先生については、7月開催の「第31回万有札幌シンポジウム」での講演と授賞式、また11月には欧州の著名な大学、研究所での講演ツアーを行った。  
なお、10月に予定していた米国の講演ツアーは台風19号の影響により延期された。

### III. 管理業務報告

1. 平成30年度事業報告及び決算等について、令和元年5月21日開催の理事会にて承認され、6月18日開催の評議員会において、決算書類が承認された。また、同月26日、内閣府に対して定期提出書類の提出を行った。
2. 令和元年6月の任期満了理事（6名の再任、2名の退任）及び任期満了評議員（2名の再任、4名の退任）について、変更登記及び内閣府への認定変更届出手続きを行った。
3. 令和元年5月に、出捐会社のMSD株式会社に対し、財団のガバナンスや平成30年度事業活動の報告とともに令和元年度の活動計画についての説明を行った。
4. 医学領域及び有機合成化学領域への継続支援を前提とした令和2年度事業計画及び収支予算等について、令和2年2月25日開催の理事会にて承認され、3月18日の評議員会（みなし決議）において報告された。また同月29日、内閣府に対して定期提出書類の提出を行った。

※ 本報告書における金額は、人件費・固定費等の共通経費を除く直接費の概算金額である。

以上